

保育理念（事業運営方針）		人はだれもが素晴らしい人格者であり、互いに尊重し尊重される存在です。大宮すこやか保育園では、児童憲章の精神に則り、児童の最前の利益を保証します。保育士一人ひとりが常に向上心と真心をもって保育にあたり、その質を深め「子ども達の健やかな成長」と保護者の「育児」を支援します。また地域との積極的な交流を持ち、地域社会に根差した保育運営を目指します。														
保育理念		「あのね、きょうね・・・」子ども達の心は表情や言葉になって溢れます。子ども達一人ひとりが毎日を生き生きと過ごせる人的・物的環境を整え、心を込めたかかわりを持つことで「その子が最もその子らしく光る」ことを理念とし一生の土台となる「しなやかでたくましい心と身体」を育みます。														
保育目標		○元気で明るい子（たっぷり遊んで、よく食べて、ぐっすり眠る） ○意欲をもって行動できる子（十分に育ちを見守られながら、さまざまな体験をとおして、豊かな感性を育てる）														
社会的責任		人権尊重		説明責任		情報保護		苦情解決								
○児童福祉法、保育所保育指針等に基づき、児童・保護者・地域に対し、保育所の役割を確実に果たす		○子どもの発達や経験の個人差等にも留意し、お互いに尊重する心を育て、子どもの人権に配慮した保育を行う		○地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に当園が行う保育の内容を適切に説明するよう努める		○個人情報の取扱いに留意しつつ、児童福祉の精神に基づいた保育事業を遂行するため当園の保育方針の範囲内で利用する		○苦情解決責任者のもと、第三者委員を含めた苦情解決委員会を設置し、保護者の苦情などに対し、その解決を図るよう努める								
○発達過程		人数により、年齢別または縦割り保育を計画的に実施 保育所保育指針及び当園の理念・保育方針・保育目標に基づき、年間指導計画を作成 家庭との連携の下、子ども一人ひとりの発達をふまえ、養護と教育が一体となった保育を展開する			○主な行事 入園式、進級式、遠足、七夕、水遊び、夏まつり、運動会、クリスマス会、節分、ひなまつり、お別れ遠足、卒園式、お別れ会、お誕生会、保育参加、個人面談、健康診断、ふれあい会			保育標準時間 7:00～18:00（18:00～20:00 延長） 短時間認定 8:30～16:30（7:00～8:30・16:30～20:00 延長） 土曜保育 7:00～18:0								
年齢別保育目標	0 歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境確保により安心して過ごせるようにする ・人間関係の基礎を培う ・個人差に留意した、離乳の完成、歩行の開始、言葉の発生を助ける ・見る、聞く、触れる等の経験を通して身の回りのものに対する興味や好奇心を芽生えさせる 			3 歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、情緒の安定のもと、生活に必要な基本的な習慣を育てる ・戸外遊びなど遊びの中で、体を動かす楽しさを味わう ・生活や遊びの中で友達との関わりを広げていく ・自分の思い、要求、経験などを言葉や様々な活動で表現する 										
	1 歳児（満 1 歳より）	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境の確保と個々に応じた関わり方をする事で快適に過ごせる様にする ・生理的欲求や依存欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る ・手助けすることで身の回りの事を自分で行うようとする気持ちを育てる ・手助けすることで友達との関わり、遊びの中での言葉のやり取りを楽しむ ・歩行の完成と運動機能の発達を促し、外界に対する興味、関心を育てる 			4 歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒の安定のもとに、自分らしさを十分に発揮しながら、喜んで活動に取り組む ・全身を動かして遊ぶ楽しさを味わい、保育者や友達との関わりを深める ・身近な自然や社会の出来事に関心をもち、見たり触れたりして心豊かに過ごす ・色々な経験を通じて、生活に必要な身近な言葉や優しい言葉使いを身につけていく 										
	2 歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境を整え安心できる保育士との関係のもとで基本的な生活習慣が身につくようにする ・生活や遊びの中で言葉のやり取りをしながら、友達関係を広げていく ・体を動かしたり、表現したりする楽しさを味わう ・身近な自然との関わりの中で意欲的な活動をすると共に、命を大切にすることを育てる 			5 歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な園生活を楽しむ中で情緒の安定を図るとともに健康、安全など基本的な生活習慣や態度を身につける ・集団的な遊びを通して体を動かしたり、友達との関わりを深め意欲的、創造的な活動をする中で充実感を味わわせ、自主、協調の態度を養う ・自然や身近な事象に興味、関心をもち豊かな心情、創造力、知的好奇心を高める 										
保育のねらい及び内容																
年齢		0 歳児		1 歳児（満 1 歳より）		2 歳児		3 歳児		4 歳児		5 歳児		教育・保育において育みたい資質・能力		
養護	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの生活リズムを重視して食欲、睡眠、排泄等の生理的欲求を満たし、生命の保持と安定を図る 		<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄等の活動を通して、自分で行うようとする気持ちが芽生える 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活リズムに合わせて適度な運動と休息ができるようにする。また生活や遊びの中で自我が育つような関わりを持つ 		<ul style="list-style-type: none"> ・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることに喜びを持ちながら、健康・安全など生活に必要な基本的な習慣を次第に身につける 		<ul style="list-style-type: none"> ・体や病気について関心をもち、健康な生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける 		ア 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする 「知識及び技能の基礎」		
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・発達過程などを的確に把握し、応答的なふれあいや言葉かけを行い情緒の安定を図る 		<ul style="list-style-type: none"> ・スキンシップにより保育士との関わり心地よさや安心感を得るように接する 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いていく 		<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な活動を促す環境を構成し、探索意欲が高められるように見守る 		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な経験を通し自己肯定感を育み、自信や保育士への信頼を獲得できるようにする 		<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムに応じた活動内容の調和を図り休息がとれるようにする 		イ 気付いたり、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする 「思考力、判断力、表現力等の基礎」		
教育	・健やかに伸び伸びと育つ	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、常に体の状態を細かく観察し、疾病や異常は早く発見し、快適に生活できるようにする 		<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり快適に生活できるようにする ・身の周りの簡単な事を自分で行うようとする気持ちが芽生える 		<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で援助してもらいながら、自分で行うようとする ・保育士と一緒に全身や手や指を使う遊びを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りを清潔にし生活に必要な活動を自分で行うようとする ・外遊びを十分にするなど、遊びの中で体を動かす楽しさを味わう 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体に関心をもち、異常を感じたら自分から保育士に知らせる ・身近な遊具や用具を使い、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・安全に必要な基本的な習慣や態度を身につけ、そのわけを理解して行動する ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しむ 		ア 健康な心と体	
			人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の愛情豊かで応答的な関わりにより信頼関係が生まれる 		<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる保育士の身の回りの中で、周囲の大人や子どもに関心をもち関わろうとする 		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わって遊ぶ楽しさを味わう 		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人との関わり、友達と遊ぶことを楽しむ ・保育士や友達の言う事を理解しようとする 		<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で自己主張したり、また人の立場を考えながら行動する ・異年齢の子どもに関心をもち関わりを広げる 		<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや行事を通して友達を応援したり力を合わせる事の大切さを知る ・進んで異年齢の子ども達と関わり、生活や遊びなどで役割を分担する楽しさを味わう 		ウ 協働性
	・身近な人と気持ちが通じ合う	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが状態に優しく応え、発声に回答しながら喃語を育む ・発語の意欲を育てる 		<ul style="list-style-type: none"> ・安全で活動しやすい環境の中で自由に体を動かすことを楽しむ ・絵本、玩具などに興味を持ってそれらを使った遊びを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものや親しみのもて小動物や植物を見たり、触れたり、保育士から話を聞いたりして興味や関心を広げる 		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境に興味を持ち、自分から関わり、生活を広げていく ・身近な社会事象に親しみ、模倣したりして遊ぶ事を楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの人々の生活に親しみ身近な社会の事象に関心をもち ・身近な環境に興味を持ち、自分から関わり、身の周りの事物や数、量、形などに関心をもち 		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会や自然と触れ合う中で、自分たちの生活との関係に気づき、それらを取り入れて遊ぶ ・日常生活に必要な事物を見たり、扱ったりなどして、その性質や存在に興味をもち、数、量、形などへの関心を深める 		イ 自立心	
			言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で活動しやすい環境の下で寝返りや腹這いなど自ら動こうとする意欲を育てる 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士は応答的に関わり、子どもが伝えたい気持ちを大切に待ち育んでいく 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士を仲立ちとして、生活や遊びの中で言葉のやり取りを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な言葉がある程度分かり、したいこと、してほしいことを言葉で表す ・絵本、童話などを見たり聞いたりして、その内容や面白さを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・人の話を聞いたり、自分の経験や思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう ・絵本、童話などを見たり聞いたりしてイメージを広げ言葉を豊かにする 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験や、考えたことなどを適切な言葉で表現し、相手と伝えあう楽しさを味わう ・身近な文字に関心を深め、読んだりすることを楽しさを味わう 		エ 道徳性・規範意識の芽生え
・身近なものに関わり感性が育つ	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く、見る、触るなどの経験を通して、感覚や手の指の機能を働かそうとする ・絵本や玩具、身近な生活用品が用意された中で、身の回りのものに対する興味や好奇心が芽生える 		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物を様々なもの自由にいじって遊び外界に対する好奇心や関心を持つ ・身近な音楽に親しみ、それに合わせた体の動きを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士と一緒に人や動物などの模倣をしたり、経験したことを思い浮かべたりして、ごっこ遊びを楽しむ ・興味のあることや経験したことなどを生活や遊びの中で、好きな様に表現する 		<ul style="list-style-type: none"> ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づく ・感じたことや思ったことを描いたり、歌ったり、体を動かしたりして、自由に表現しようとする 		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事物などに関心をもち、それらの面白さ、不思議さ、美しさなどに気づく ・感じたことや思ったこと、想像したことなどを様々な方法で自由に表現する 		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会や自然事象への関心を深め、美しさ、やさしさ、尊さなどに対する感覚を豊かにする ・感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する 		オ 社会活動の関わり		
		食育	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差に応じて授乳を行い、健やかな発育・発達を促す ・離乳を進め、様々な食品に慣れさせながら幼児食への移行を図る 		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な食品や調理形態に慣れ、楽しい雰囲気のもとで食べることができるようにする 		<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで食事、間食をとることができるようにする 		<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に食事をし、様々な食べ物を食べる楽しさを味わうようにする 		<ul style="list-style-type: none"> ・食事をする事の意味が分かり、楽しんで食事や間食をとるようにする 		<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多くの種類の食べ物をとり、楽しんで食事や間食をとるようにする 		カ 思考力の芽生え	
健康支援		全園児健康診断（入園時及び年 2 回）、身体測定（毎月）、歯科検査、日々の健康状態の視診、保健指導（手洗い、歯磨き）、感染症の発生及び対応の広報								食物アレルギー児に対し生活管理指導表の作成						

環境・衛生管理	室内・園庭・園周辺の清掃、玩具の洗浄・消毒、職員検便の実施（全職員）、ペーパータオル使用（園児・職員）、酸性水使用、アルコール消毒使用
安全対策・事故防止	消防計画の作成、避難・消火訓練実施（月1回）、避難訓練実施記録記載、インシデントレポートの活用（適宜）、施設設備安全点検、応急救護研修（年1回）、事故記録簿の作成、SIDS 予防チェックリストの導入、虐待早期発見・早期対応のためのチェックシート
保護者・地域等への支援	連絡帳による情報交換（毎日）、保育行事参加（適宜）、個人面談（適宜）、園だよりの発行（毎月）、保育相談（適宜）、栄養相談（適宜）一時預かり保育（適宜）、園周辺の清掃（毎日）、地域行事の参加（適宜）、
研修計画	職員研修（適宜）、園会議（月1回）、園内自主研修（適宜）
小学校との連携	保育所児童保育要録の送付（年長児全員）、就学支援シートの作成（保護者からの要望がある場合）、小学校との交流会・連絡会への参加（適宜）、
自己評価	スタッフ研修の徹底により、法人理念・保育方針・保育課程の理解、自己評価表の実施（チェックリスト）
長時間保育	早朝保育や延長保育等を考慮し、個々の状態に応じて全職員が連携して保育を行う。